

2019年3月17日 養老山～笹ヶ岳

三月の定例山行は雪

【記録：N. T】

7：10 滝上駐車場着
7：12 滝上駐車場発
7：55 三方山 小休止
8：46 小倉山
9：05 養老山 小休止
10：24 旧牧場
11：28 笹ヶ岳 小休止
12：22 もみじ峠 小休止
13：38 滝上駐車場着

3月17日の定例山行は、養老の滝上部から三方山、小倉山、養老山、養老山地の最高峰笹ヶ岳をぐるっと回るコース。参加者は4パーティー22名。

養老の滝上駐車場を出発。天候は曇り。

ゲートを越え、林道の先の二股から左の三方山方面への道に入る。沢を渡ると、遊歩道の急な登り。風はないが、けっこう気温が低い。ジグザグの木の階段を登り切ると休憩所に着く。ここから道は幾分緩やかになり、笹原峠への分岐、三方山に続く。休憩所を歩き出すころから細かな霰が降り始めた。

三方山（730m）の山頂からは濃尾平野が一望できる。手前に揖斐川、その向こうに木曾川が白く光っている。

分岐に戻って、緩やかな起伏のアップダウン。木の階段を登り切って小倉山（841m）園地の一画に出る。ここから養老山（859m）山頂を往復する。養老山の山頂は眺望がないが、山頂脇の木の枝に小さな瓢箪がいくつもぶら下がっている。

小倉山園地のあずまや東屋を回って、笹ヶ原に向かう。開けた草原状のアップダウンを繰り返す。ここからは右手に濃尾平野方面の眺望が続く。笹ヶ原の分岐を過ぎ、アセビ平（旧牧場）に着く。ここから笹ヶ岳を往復する。気温が少し上がって、それまでの指の冷たさが少し和らいだ。霰が雪に変わっている。登山道は雪が載って白くなっている。

もみじ峠から大洞川の源頭に下り、いよいよ笹ヶ岳への登りになる。山腹につけられた外傾した踏み跡は雪が乗って余計に歩きにくい。先頭を交代して慎重に足を運ぶ。やがて道は、灌木の間の石ころの登りに変わる。斜面を登り切って尾根上のブッシュの間を進むと笹ヶ岳（908m）山頂に着く。

一息入れて下山。大洞川源頭からもみじ峠に登り返し、旧牧場へ。旧牧場からは林道歩きの一時間。このあたりから雪が少し強くなり、大粒の結晶が絶え間なく落ちてくるようになった。雪は、メンバーのザックの肩に白く積もるほどだったが、標高を下げるにしたがって止み、林道も黒々とした地面に変わった。予期せぬ霰と雪だったが、雨にならなくてよかった。登山口近くで眺めた周囲の山肌は冬枯れと常緑樹のグラデーショ、ところどころ昇り始めたガスが幻想的だった。

下界を走る頃には強い雨、伊勢湾岸道は晴れと、目まぐるしく天候が変わった一日。

（洞井孝雄）

